

青森県中泊町の新・ご当地グルメ「中泊トマト海鮮ラーメン」

夏期限定(7~9月)姉妹商品

中泊トマト冷やしつけ麺 大

自家製ガスパチョスープ + オリジナル麺 + 中泊産メバル + 中泊産ヤリイカ

自家製ガスパチョスープ

「ガスパチョ」は、スペイン発祥の冷製トマトスープ。「中泊トマト海鮮ラーメン」のトマトスープをベースに、キュウリ・セロリ・タマネギ・オリーブオイル・酢・Tabasco等を加えて、夏のトマト冷麺ならではのガスパチョスープが誕生。

7種類のトッピング

中泊産メバル(ソテー)・中泊産ヤリイカ(ソテー)・中泊産ブロッコリー(茹で)・カニカマ・水菜・赤パプリカ・黄パプリカ。白皿に盛ったトッピングは7種類。麺&ガスパチョスープに絡めてどうぞ。

オリジナル麺

北海道産小麦「ゆめちから」「きたほなみ」とデンプンをブレンドして作った特注のオリジナル麺。青森県民に馴染みの深い「ざる中華」に敬意を表し、洋風ざるスタイル(丸いガラス皿・氷・竹すだれ)で夏の清涼感を演出!

2022年7月7日(木)
デビュー!

黄色のレンゲ

ガスパチョ発祥の国・スペインの国旗は、赤・黄・赤に並んだ横三色の中央の旗竿寄りに国章を配置。赤い箸置きと二色揃って、気分はスパニッシュ!

味変調味料

まず本来の味を楽しんだ後、粒マスタードをスープと混ぜて、味の変化をお楽しみ下さい。

赤い箸置き

真っ赤に熟したトマトが2つ並んだ意匠が可愛い箸置き。2つのトマトのくぼみに、箸がピッタリと収まる。

新・ご当地グルメ

「中泊トマト冷やしつけ麺」
が食べられる4店

この「のぼり」が目印

全店
950円
(税込)

小泊

たつどまり
レストラン竜泊(道の駅こどもり内)

晴れた後は北海道の山々も一望する絶景レストラン。竜泊ライン沿いの道の駅2階にあり、遮るものなく海を一望できる。4月~5月中旬には店内の水槽を泳ぐ活イカも味わえる。目の前の折腰内海水浴場は、夕陽の名所。
住 中泊町大字小泊字折腰内45 ☎ 0173-27-9300
営 11時~15時(LO14時45分) 休 11月上旬~4月下旬休業
P 106台

中里

くつろぎダイニング哲。

津軽中里駅から徒歩3分 夕食・夜食でも味わえる♪
「メバル膳」「メバちゃん鍋」「トマ鮮ラーメン」すべてを味わえる店。店長は中泊メバル料理推進協議会会長。
住 中泊町大字中里字紅葉坂48-4 ☎ 0173-57-9086
営 (昼)11時~13時30分(LO13時) 夜)17時~23時
休 月、第2・4日、12/31~1/2 P 10台

中里

しじみ亭 奈良屋

十三湖の湖畔にたたずむしじみ料理の専門店。店の前に広がる十三湖で採れる大粒のヤマトシジミを知り尽くしたお食事処。しじみ加工品やお土産の販売コーナーも。団体での予約可。「はくちょう亭 奈良屋」に隣接。
住 中泊町大字今泉字唐崎255 ☎ 0173-58-3581
営 10時~17時(LO16時30分) 1月~2月は16時迄
休 水、12月31日~1月3日※GW、7・8月は無休 P 30台

中里

ピュアレ스토랑

青森から一番近いレストラン買い物にも便利な直売所内。地元産の新鮮野菜や海産物、加工品、新・ご当地みやげなど、中泊町の名産品を一通り購入できる直売所「ピュア」に併設。買い物の後にゆっくり食事を楽しんで。
住 中泊町大字八幡字日向334 中泊町農産物加工販売施設「ピュア」内
☎ 0173-57-5011 営 9時~16時30分※冬期は16時迄
休 12月31日~1月3日 P 60台

※記載内容は、2022年6月22日時点の情報に基づいています。よって、時間の経過とともに変更になる場合もあります。また、掲載写真と実際が異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

●お問い合わせ先 中泊メバル料理推進協議会

〒037-0392 青森県北津軽郡中泊町大字中里字紅葉坂209番地(中泊町役場水産商工観光課内) ☎ (0173)57-2111

www.nakadomarimebaru.com

中泊メバルの刺身と煮付け膳

検索



フェイスブックページもやってます。

企画協力/じゃらんリサーチセンター 商品ロゴ(書き文字)/中田雄大(株式会社コンセプトワン)